

コード	602030201
記入日	H24.6.8

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	前田 芳朗
担当者	大水 広和

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	コミュニティ助成事業
----------	------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	6	政策名称	参加と行動による協働のまちづくり	款コード	2
施策コード	602	施策名称	住民参加のしまづくり	項コード	1
基本事業コード	60203	基本事業名称	コミュニティ活動の推進	目コード	7
事務事業コード	6020302	事務事業名称	コミュニティ助成事業	細目コード	802
関連計画	法令・条例規則等				

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 住民		(対象指標1) 22,720人口(H23.4.1現在)				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	(平成23年度) ・有川羽差太鼓保存会太鼓購入事業 ・島との交流サッカー大会事業	*****	*****	*****	採択件数÷ 要望件数	*****
		採択件数	2件	100%		平成23年度
		① (達成率分析)	有川羽差太鼓保存会の太鼓等備品の整備と新上五島サッカー協会主催の島との交流サッカー大会事業を要望し採択された。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
・宝くじの受託事業収入を財源とし、要綱に定めるコミュニティ活動に助成を行い地域社会の健全は発展を図るとともに宝くじの社会貢献広報事業として助成を行う。 (一般コミュニティ助成事業) コミュニティ活動に直接的な施設又は設備の整備に関する事業 (青少年健全育成助成事業) 青少年の健全育成に資するための文化学習活動に関する事業、その他コミュニティ活動のイベント等のソフト事業		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		*****	*****	*****	助成件数÷ 助成計画件数	*****
		① (達成率分析)	有川羽差太鼓保存会太鼓等購入事業と島との交流サッカー大会への助成を実施できた。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	13	13	11	2	2					
	②										
成果指標	① 件	13	13	11	2	2					
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	39,501	39,501	34,101	5,400	5,400					
直接事業費 A	千円	24,801	24,801	21,501	3,300	3,300					
人件費 B	千円	14,700	14,700	12,600	2,100	2,100					
内訳	従事職員数	人	2.1	2.1	1.8	0.3	0.3				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円	24,700	24,700	21,400	3,300	3,300				
一般財源	千円	14,801	14,801	12,701	2,100	2,100					

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	財団法人自治総合センターのコミュニティ助成金制度に沿った助成であり、助成金制度の趣旨に沿う事業に対しては積極的に活用を検討すべきである。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	地域コミュニティの活性化を担う自治会や活動団体の直接的活動支援策として必要である。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	対象事業が限られており、申請した事業が必ずしも採択されとも限らない。助成制度の周知を図り、現状の手法で計画、申請を継続する。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	コミュニティ活動に直接必要な施設・備品等の整備、コミュニティの活性化を図る活動に寄与している。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	● 代えられる ● 代えられない	理由	財団法人自治総合センターの助成要綱に基づく助成事業であり、費用や業務量としては最低限必要な範囲で実施している。

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	事業を継続して実施している。また、自治会や、地域コミュニティ活動を行う団体に対しての制度周知も町ホームページ等を活用し実施している。
	今後、課題に向けた改善策	住民の要望に合わせて、緊急性や広域性、事業効果などを見極め積極的に助成事業を活用していく。

2次評価	1次評価のとおりであるが、今後も住民の要望を聞きながら施設整備等の助成事業を積極的に活用していくとともに制度周知も効果的に行うこと。
-------------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。